※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　インテリア科

教科	工業	科目	製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	インテリア製図						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

図面の描き方や寸法の記入方法、正投影図第三角法や等角図の書き方等を学習します。作品を製作する時に必要な設計図を書けるようになって、自分が作りたいものが表現できるようになりましょう。図面の書き方を習得するには慣れが必要なので、できるだけ休まないようにしましょう。

２　学習の到達目標

・等角図や正投影図第三角法など、製図の基礎を正しく理解して、正確に図面が作成できる技術を身につける。
・作図の条件や手順を考察し、正確な図面で表現ができる。
・様々な作図方法に関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	等角図や正投影図第三角法等の作成では、道具を正しく使い正確に作図ができている。	作図の条件や作図の方法を正確に行えるよう、作業手順を考えている。作業を間違えた場合は、やり直す判断ができている。	等角図や正投影図第三角法等に関心をもち、作図に意欲的に取り組む態度を身に付けている。基礎製図検定等にも興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	基礎製図	等角図や正投影図第三角法等の図法について 寸法記入等の製図の規約 図面の作成	ａ：等角図や正投影図第三角法等の作成では、道具を正しく使い正確に作図ができている。 ｂ：作図の条件を正確に行えるよう、作業手順を考えている。作業を間違えた場合は、やり直す判断ができている。 ｃ：等角図や正投影図第三角法等の作図方法に関心をもち、作図に意欲的に取り組む態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
後半	基礎製図	正投影図第三角法等の図法について 寸法記入等の製図の規約	ａ：等角図や正投影図第三角法等の作成では、道具を正しく使い正確に作図ができている。 ｂ：作図の条件や作図の方法を正確に行えるよう、作業手順を考えている。作業を間違えた場合は、やり直す判断ができている。 ｃ：等角図や正投影図第三角法等の作図方法や検定試験等に関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度